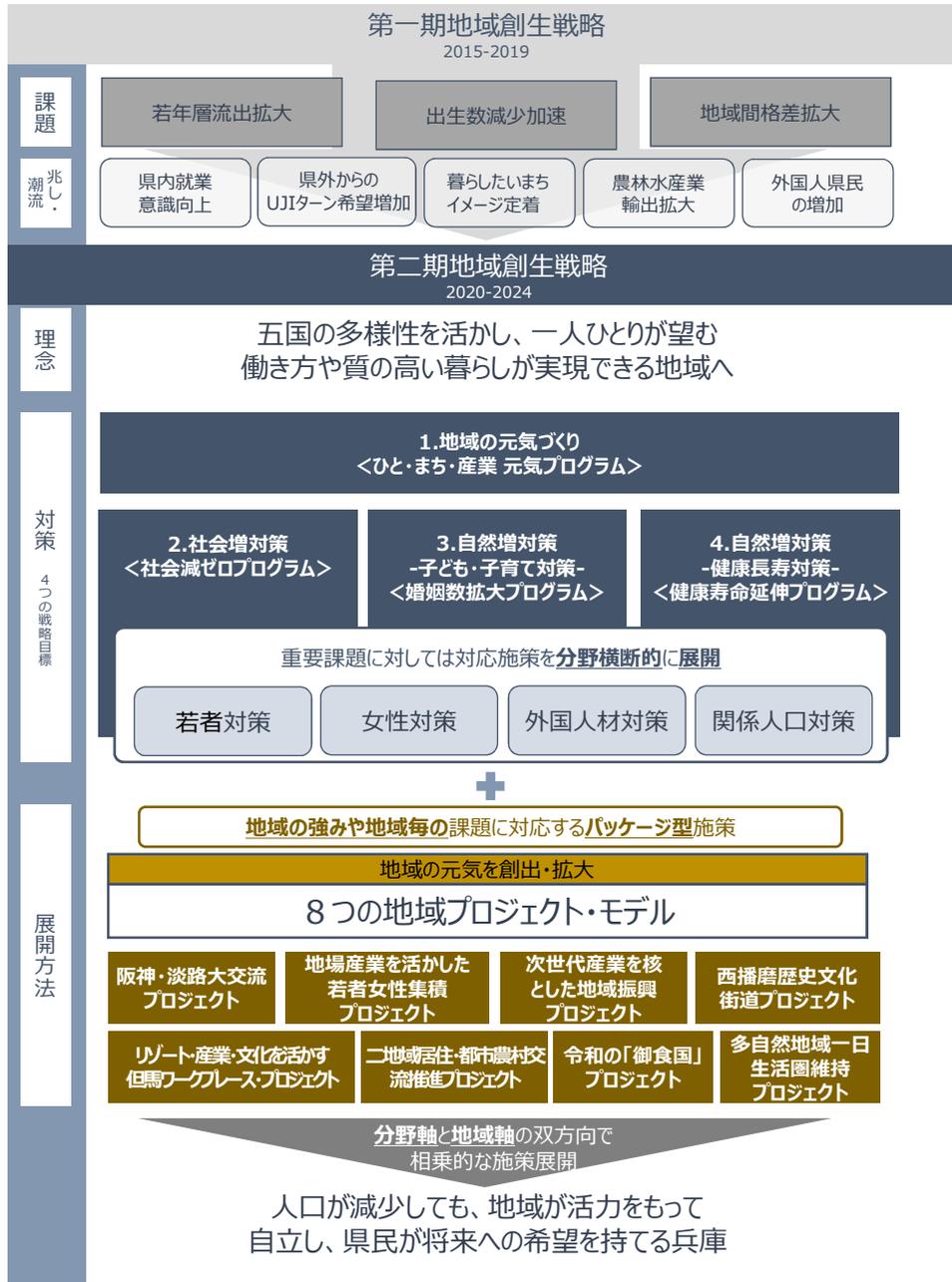


第二期「兵庫県地域創生戦略（2020-2024）」概要

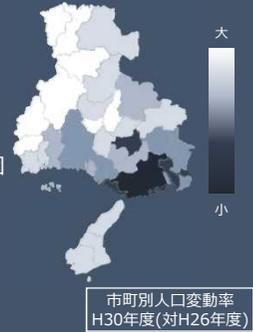
第一期戦略（2015～2019年度）の5年間の評価検証等を踏まえ、2020年度から2024年度の今後5年間の目標及び取り組むべき施策を定めた、第二期となる「兵庫県地域創生戦略（2020～2024）」を策定する。



地域創生の課題

参考資料2

- | | |
|-----|--|
| 人口面 | <p>若年層流出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳代前半の転出超過数はH26年からの5年間で1.7倍 ・県内大学生の県内就職率は3割弱で推移 <p>出生数減少加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数は、H28から減少幅が拡大 ・50歳時未婚率の上昇、20～30歳代の女性人口の減少が主な要因 |
| 戦略面 | <p>地域間格差拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも都市圏と多自然地域で人口偏在が顕在化 ・合併市町では、旧役場の所在地周辺が疲弊 ・小規模集落が10年間で倍増 |



Point 1 地域の元気づくりを第1に推進

指標	<p>1.国を上回る一人当たりの県内総生産(GDP)の伸びを維持する</p> <p>2.住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について、前年度を上回る</p>
産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> -兵庫の強みを活かした産業競争力の強化- -先端科学技術基盤を活かした次世代産業の創出・参入促進 -地域産業の振興- -地場産業の新ブランド創出支援、商業業務機能の集積 -企業立地・投資の促進- -IT関連企業や、ホテル・スポーツ施設など「観光集客機能」の立地促進 -外国・外資系企業が集積し、外国人等が暮らしやすい地区の形成 -起業・創業の更なる支援- -知的インベーション拠点やコワーキングスペースの形成支援 -農林水産業の基幹産業化- -次世代施設園芸、スマートファーム、農業のスマート化
交流の拡大	<ul style="list-style-type: none"> -日本遺産や歴史文化遺産など、地域資源を活かした観光コンテンツの開発 -医療やスポーツなど、新しいツーリズムの展開 -世界ブランドの高級ホテルの誘致 -ひょうごe-県民制度を活用した情報発信等による関係人口の創出・拡大
芸術文化	<ul style="list-style-type: none"> -都市のリノベーションの推進（三宮、県庁周辺、西宮、姫路、明石等） -夜間でも楽しめるナイトタイムコンテンツの充実 -世界のトップレベルの大学への進学者を拡大する教育システムの確立 -革新的技術の地域実装（ドローン、遠隔医療、遠隔授業など）

Point 2 人口対策

社会増	指標	<p>1.2024年までに日本人社会減ゼロ</p> <p>2.20歳代前半の日本人若者の県内定着率93%</p> <p>3.5年間で25,000人の外国人の増加</p>	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業情報の発信やマッチングの強化等、若者や女性の定着・環流を促進する具体的な取組を推進 ・外国人材の県内定着等多文化共生社会の実現を推進
自然増	子ども	<p>1.2024年まで合計特殊出生率1.41を維持</p> <p>2.結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻件数27,000件</p>	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者と連携した結婚のきっかけづくりなど、結婚したいという希望を叶え、婚姻数の増加を図る ・子ども・子育て環境を整備し、出生数の増加につなげる
自然増	健康長寿	<p>1.平均寿命と健康寿命の差を縮める</p> <p>2.運動を継続している人の割合75%</p>	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと暮らせるよう、スポーツに親しむ機会の充実や疾病等の早期発見・早期治療を促進し、健康寿命の延伸を図る

自然増・社会増対策のベースとなる、地域の豊かな未来づくり

Point 3 地域プロジェクト・モデルを新設

施策に対応する具体的な事業・指標は、毎年度策定（3月）する事業実施計画において設定・展開